

# 2021 年度第 5 回役員会議事録

2022 年 4 月 7 日 議事録作成：丹羽 睿

開催日時：2022 年 4 月 7 日（木）9：30～11：30

場 所：布袋北部地区学習等供用施設 2 階 集会室 A

出席者：平尾雅生、丹羽 睿、青山鉄治、林 久翁、田中幸子、能祖 優、安藤節夫、奥村 忠、  
上田吉男、神山良雄、大倉弘行、佐橋康弘、中島 仁

## <報告事項>

### 1. 会長からの報告

①本日の出席者のうち 2022 年度新たに代表となる方を紹介

フोटユー 安藤節夫さん

スマイル 中島仁さん

②江南市地方創生推進課と協働ステーション Web の受託契約を従来金額で済ませた。

③地方創生推進課の担当者から

布袋駅に令和 5 年 4 月に開館予定の布袋駅東複合公共施設にできる「交流スペース」へ現在西庁舎で行っている業務を移転させる。施設の維持管理は民間の業務委託により行われるため、施設を使用するときに使用料が発生する可能性が高い。また協働ステーション Web の運営も民間へ業務委託とするので当尾北シニアネットとの委託契約が継続されるかは現在不明である。などの説明があった。詳細は夏以降業者が決定してからになる。これにより尾北シニアネットが西庁舎で行っていた事業、会合は「交流スペース」へ移転することになるが、継続するかの検討が必要となる。

④生涯学習課主催のスマートフォン講座を古知野北公民館で尾北シニアネットが受託し 6 月に開催する。

⑤高齢者いきがい課の「ちいきのせんせい」団体登録を申請していて受理されていなかったが、団体登録によるメリットがないので止める。

⑥国が進める「デジタル活用支援事業」の江南市の窓口である ICT 推進グループが尾北シニアネットとの共同活動をしたいとの話があった。

### 2. 会計からの報告（青山会計）

①1 年間の会計報告

収入は予算対比 117%、支出は予算対比 87%

収入の主な増加要因は①会員の減少見込みに対してほぼ減少なし②ミニ講座・特別講座の増、支出の主な減少要因は、コロナウイルス下でのサークル活動、催事事業などの活動の ZOOM 利用による施設を使用した活動の減少。

### 3. サークル代表者からの報告

1) パークゴルフ（上田代表）

現在 11 名。2021 年度はコロナウイルスの影響で活動回数が少なかったが、今年度は定例通り毎週月曜日にできそうなので時期を見て大会を開催する。

## 2) どんぐり教室（佐橋代表）

専任で講師をやっていた方が事情により降りたので、今後の進め方を外部講師を頼むことも含め対策を考えている。高齢化が進んでおり対面に出席しづらい人も ZOOM 利用で開催を続けている状況。来年8月で20周年を迎える中で解散も考えている。

## 3) スマイル（中島代表）

ホームページを4月から新しくし、会員からの投稿も受けられるようにした。

1月から新入会員にオリエンテーションを行ってきて、5月に新規尾北シニアネット会員としても入会する方が8名、すでに尾北シニアネット会員の方が3名スマイルに入会予定。

新入会員を含んで65名となる。

アンドロイド端末の方が多いため講師を募集中。

## 4) ネットひまわり（奥村代表）

4月から21名。高齢化の問題はあるが、会員から継続してほしいとの意向を確認できている。現在出席率は良く8割から9割である。

## 5) ゴルフサークル（能祖代表）

現在14名。そのうち5名が80歳以上となっている。高齢化により会員が10名を切るようになるとコンペの実施がむつかしくなるので新入会員を望んでいる。

## 6) ロマンの会（大倉代表）

現在10名。コロナウイルスや市況が思わしくない関係もあり集まりはよくない。月2回の開催がむつかしくなってきた。

## 7) ネットサロン平和（神山代表）

現在29名。出席者は12～3名。コロナウイルス前は22～3名であった。

平均年齢は、82.2歳でパソコン卒業者も出ている。

コロナウイルスの影響で休むことが多かったが、尾北シニアネットの会員として集える場所として継続する。

## 8) フォトユー（安藤代表）

現在13名。高齢化により写真を取りに行けなくなった方、車に乗れなくなった方があり、例会に致し方なく古い写真を持ってこられる方がいる。

数名になっても、意欲のある方が集まれる場所として継続していく。

## <審議事項>

### 1. 通常総会スケジュールなどについて

3月31日に総会開催の案内メールを送信済。

今後は、

4月16日までにサークル単位に出欠のまとめ。

4月21日に総会冊子の印刷製本。

看板の準備は能祖さんをお願いします。

4月28日当日の受付担当者のまとめを田中さんをお願いします。

最悪コロナウイルスの感染拡大が起きたときの対応

4月18日までにコロナウイルスに係わる措置が発令されたなど、対面式総会が開催できないと判断したときには書面表決方式に切り替える。

4月23日に表決用はがきを送付。

5月5日消印で締め切る。

5月8日に集計し、結果をメール送信とホームページ掲載をする。

## 2. 通常総会冊子、予算案の件

冊子内容の審議。

- ①組織については、役員、部会責任者、サークル代表者を含め冊子組織図の内容を原案通り総会に諮ることにした。
- ②予算の説明を林事務局が行い、会員数の見込みや催事について等の討議をし原案通り総会に諮ることにした。
- ③部会の報告、計画について担当部会長に確認したうえ、討議して原案通り総会に諮ることにした。
- ④会則改定について討議し原案通り総会に諮ることにした。
- ⑤サークル活動の報告、計画について各代表者に確認したうえで、原案通りとした。

以上

次回は6月2日（木）の予定